

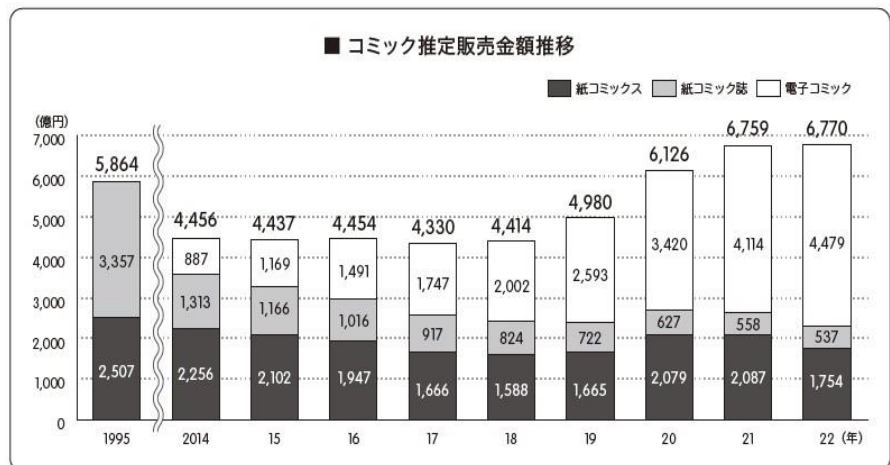
## 2022年コミック市場(紙+電子)、0.2%増の6,770億円 紙は13.4%減、電子は8.9%増

出版業界の調査研究機関である(公社)全国出版協会・出版科学研究所(所在地:東京都新宿区 理事長:浅野純次)は2月24日、『出版月報』2月号にて2022年(1~12月期累計)のコミック市場(推定販売金額)を発表しました。紙と電子を合わせたコミック市場は前年比0.2%増の6,770億円。21年に10.3%伸びた市場でしたが、22年はわずかな増加にとどまりました。内訳は紙のコミックス(単行本)とコミック誌を合わせた販売金額が同13.4%減の2,291億円、電子コミックが同8.9%増の4,479億円。出版市場におけるコミック(紙+電子)のシェアは同1.1ポイント増の41.5%に達しました。

### □ 紙コミックス(単行本)は16.0%減、巣ごもり需要終息で大幅減

紙のコミック市場は前年比13.4%減の2,291億円、内訳はコミックスが同16.0%減の1,754億円、コミック誌は同3.8%減の537億円。紙のコミックスは、20年、21年と続いていたコロナ禍の巣ごもり需要が終息し、メガヒット作品も前年に及ばなかったため二桁のマイナス。しかしマンガアプリ発の大ヒット作品もあり、19年比ではプラスです。

コミック誌は依然として単発で売れる傾向が強く、連載媒体としての役割はマンガアプリなどにシフトしつつあります。一方、『週刊少年ジャンプ』と『週刊少年サンデー』で尾田栄一郎と青山剛昌がコラボ対談するなど、作品を盛り上げる媒体として重要視する出版社は少なくありません。



■ コミック推定販売金額

(単位: 億円)

		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	前年比
紙版	コミックス	2,256	2,102	1,947	1,666	1,588	1,665	2,079	2,087	1,754	84.0
	コミック誌	1,313	1,166	1,016	917	824	722	627	558	537	96.2
	小計	3,569	3,268	2,963	2,583	2,412	2,387	2,706	2,645	2,291	86.6
	電子コミック (電子コミック誌含む)	887	1,169	1,491	1,747	2,002	2,593	3,420	4,114	4,479	108.9
	合計	4,456	4,437	4,454	4,330	4,414	4,980	6,126	6,759	6,770	100.2

### □ 電子コミックは8.9%増の4,479億円

電子コミック市場の推定販売金額は前年比8.9%増の4,479億円。これまで毎年二桁の増加を続けていましたが、こちらも巣ごもり需要終息の影響で伸び率は急速に縮みました。積極的な広告出稿など作品を上手くPRできているストアが好調な一方で、規模が大きいストアでも伸び悩むなど二極化の傾向が見られます。

※電子出版市場規模は、小売額としての販売金額(読者が支払った金額)を推計したもの。広告収入は含まない。

<本件に関するお問い合わせ> ※本レポートの詳細は、『出版月報』2023年2月号(頒価2,200円)に掲載しています。

公益社団法人 全国出版協会・出版科学研究所 担当: 柴田・水野

〒162-8710 東京都新宿区東五軒町6-24 TEL 03-3269-1379 FAX 03-3266-1855

<https://www.shuppankagaku.com>